

昨夜の400mR決勝進出の奇跡から一夜。私なんぞはそれだけで夢心地であったが、今日は本番だ。入賞確定とはいえ、バトンを落としたら失格だ。



スケジュールは夜の決勝のみなので、私は昼ごろ現場に向かった。相変わらずの千葉渋滞。タクシーの運転手さんは「千葉は渋滞しないはずがないんですよ。同じ方向にしか主要道路がなくてしかも交差している。毎日グチャグチャな込み具合ですよ・・・」インターハイ期間中、地方の選手の送迎が多いのか、千葉渋滞への質問が多いのだろう。



テントに着くといつものメンバー達が夕方に備えて、一次、二次アップをする予定だという。この時間をどう使うかが大きな意味を持つと大塚さんは言う。

私もサブトラックに行って、毎回独特のインターハイの雰囲気味わった。

偶然撮影したのだが、名門・神奈川桐蔭学園さんのチームが練習していた。桐蔭には医学部、歯学部にも陸上仲間が多いので、土産話のため、何気なしに撮影したのだ。

後に気がついた。背中ロゴには「ロード トウ オオサカ」と書かれていた。

ご存知のように、翌年の大阪インターハイでは、見事に400mR制覇を成し遂げる。

すでに計画遂行中だったのだ。・・・脱帽。



夕方になってきた。後藤の賞状をあらためて眺めてみる。私も100mのインターハイの賞状を見るのは初めてなのだ。

大塚さんが選手達に最後のゲキを飛ばす。「東部から始まって、12レース目。今日が最後のバトンパスだぞ！」リラックスの中にも、皆の気持ち引き締まったのがわかった。



いよいよ運命の決戦の時間がやってきた。会場はナイター照明が点灯し始め、言い知れぬ緊張感が漂う。

男子4X100mR	HR 大阪・大阪	40.18
決勝	GR 大阪・大阪	40.18
1	日大豊山 (東京)	
2	春日部 (埼玉)	
3	駿台甲府 (山梨)	
4	東海大望洋 (千葉)	
5	大阪 (大阪)	
6	添上 (奈良)	
7	沼津東 (静岡)	
8	名古屋 (愛知)	

400mRも1600mRも個人種目とは異なる、独特の世界だ。全国で数十万回のバトンが渡り、最後に残った栄光の8チーム。まるで荘厳な儀式のように感じた。



スタート！！ 伊藤は臆せず飛び出す！

奥岡は痛む脚をものともせず高橋 大へつなく。二年半の思いを込めた同期のバトンには魂が込められている。主将・最後の400mR。



400mRは3走者で決まると言われている。抜群のコーナーワークを魅せる高橋は全ての思いの詰まったバトンを後藤に託した。



後藤はインレーンのチームをかわし、3位をキープ。後藤なら抜かれることはない。
持ちタイム10秒52 インターハイ4位のトップスプリンターだ。



駿台甲府はタイム的にも優勝候補であり、かなり先を行く。3走者はその差を見てガッツポーズをあげた。それくらいの先行状態であった。準決勝の実力からして東海大望洋が2位。奈良添上は抑えられる。春高は3位に！！

しかし、準決勝に続いて、また怪物がやってきた。 そう、大阪の金丸選手だ。



会場は応援とは別の「驚愕の追い込み」に対する驚きの声に包まれた。



あっという間に3チームを抜き去った。まさに並ぶ間もなく・・・
「えっ？えっ？えーっ？ あれ抜くよ！？」



それどころか圧勝と思われたトップチームにまで追いついた！同じ高校生か？！



ついにはゴール前で逆転！ 優勝のテープを切ったのは大阪高校であった！！



オーロラビジョンのプレイバック。

後藤は言った。「右のほうから足が見えてきたんです・・・」と。



・・・とはいえ、春高史上最高位の4位に！ 見事だった。



一番うれしかったのは春高の今昔物語すべてを知り、全責任をかかえて育成してきた大塚さんだと思う。

男子4X100mR		HR 大阪・大阪	40.18
決勝		GR 大阪・大阪	40.18
1	大阪	大阪	40.64
2	駿台甲府	山梨	40.91
3	東海大望洋	千葉	41.12
4	春日部	埼玉	41.17
5	添上	奈良	41.20
6	日大豊山	東京	41.36
7	沼津東	静岡	41.42
8	名古屋	愛知	41.60

4 1 秒 1 7 の春高新記録だ！早速、関根先生や小原先生へご報告。





私の横の若きOB二人。本来、2000年岐阜インターハイのリレーに出場するはずだった。だから特別な思いがある。

インターハイで入賞することが「異常なほど難しいこと」を熟知しているOBたち。自分達の30年の鬱積が晴れた思いだった。若き後輩たち、大塚さんに感謝。このあとに飲んだお酒は美味しかった。こうして千葉の夏8月4日は永遠に我々の心に刻まれることになった。

何歳になっても「青春」はある。そういう場面を与えてくださる歴代監督、OBの先輩方に敬意の念が絶えない。



撮 筆 のもと歯科クリニック